

メディカル英語 No.4

医学英語の比較研究を読む ― RCTとコホート研究の構造を見分ける

導入文

医学英語の長文には「ランダム化比較試験 (RCT)」や「コホート研究」などの研究デザインを扱う文章が増えている。研究の種類によって「何が言えて、何が言えないか」が異なるため、デザインを見分けられるだけで読解の精度が大幅に上がる。

講義概要

医学研究の主要デザイン (RCT・コホート研究・症例対照研究・横断研究) の構造と特徴を高校生向けに整理する。各デザインで「何が証明できて、何ができないか」を体系化し、医学英文を読む際に研究の強さと限界を見抜く力を養う。

授業目標：医学研究の主要デザインを見分け、各研究の「言えること・言えないこと」を読み取れるようにする。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・薬学部・看護系志望で、医学英語の読解精度を高めたい生徒。メディカル英語No.1・2の受講後が望ましい。

授業時間：授業90分+演習・質疑応答30分

到達目標：RCTとコホート研究の違いを説明できる/各デザインの強みと限界を語れる/医学英文中の研究デザインを即座に特定できる

授業構成 (90分) + 演習・質疑応答 (30分)

授業90分：1 導入：同じテーマでも研究の種類で「言えること」が違う例を提示 2 概念導入：エビデンスの階層 (ピラミッド) を整理 3 RCT：ランダム化の意味と因果推論への強さを整理 4 コホート研究：前向き・後向きの違いと限界 5 症例対照・横断研究：使い分けのポイント 6 演習：医学英文から研究デザインを特定して読む 7 まとめ：「まず研究デザインを確認する」習慣を固定

追加30分：研究デザインを含む医学英文を2本読み、デザインの特定と「言えること・言えないこと」の抽出について質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：エビデンスの階層/RCTの構造と強さ/コホート研究の特徴と限界/デザイン別「言えること」の整理表

課題：医学英文1本を読み、研究デザインを特定した上で「この研究から言えること・言えないこと」を日本語で150字にまとめる。

備考：高校・予備校の先生方/編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。